

## \$. 平成24年度第2四半期決算の概要

### ○ 連結決算

#### 1. 連結経営成績（累計）

	売上高	営業損益	経常損益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
25年3月期第2四半期	277,011 ( △ 8.7 )	△ 40,944 ( — )	△ 49,400 ( — )
24年3月期第2四半期	303,273 ( 12.9 )	18,609 ( △ 15.5 )	12,141 ( △ 22.1 )

	四半期純損益	1株当たり四半期純損益
	百万円 %	円 銭
25年3月期第2四半期	△ 48,631 ( — )	△ 236.56
24年3月期第2四半期	5,046 ( 42.7 )	24.55

(注1) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(注2) 営業損益、経常損益、四半期純損益、1株当たり四半期純損益欄の△は、損失を示しております。

#### 2. 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,652,386	271,836	15.8
24年3月期	1,618,850	327,280	19.5

### ○ 単独決算

#### 1. 経営成績（累計）

	売上高	営業損益	経常損益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
25年3月期第2四半期	268,278 ( △ 9.0 )	△ 40,380 ( — )	△ 48,900 ( — )
24年3月期第2四半期	294,696 ( 13.2 )	17,067 ( △ 21.4 )	10,470 ( △ 31.0 )

	四半期純損益	1株当たり四半期純損益
	百万円 %	円 銭
25年3月期第2四半期	△ 48,242 ( — )	△ 234.66
24年3月期第2四半期	4,042 ( 19.5 )	19.66

(注1) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(注2) 営業損益、経常損益、四半期純損益、1株当たり四半期純損益欄の△は、損失を示しております。

#### 2. 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,588,785	224,825	14.2
24年3月期	1,553,474	279,741	18.0

## % 連結決算の概要

当第2四半期連結累計期間の収支につきましては、収入面では、販売電力量の減少や本州方面への融通電力量の減少などから、営業収益（売上高）は、前年同期に比べ262億円（△8.7%）減少の2,770億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は264億円（△8.7%）減少の2,787億円となりました。

支出面では、発電設備に係る定期検査費用の減少に加え、石炭火力の稼働を高めるなど経営効率化に努めましたが、泊発電所停止日数の増加による燃料費の大幅な増加などにより、営業費用は、前年同期に比べ332億円（11.7%）増加の3,179億円となり、これに営業外費用を加えた経常費用は、350億円（12.0%）増加の3,281億円となりました。

以上により、営業損益は409億円、経常損益は494億円、四半期純損益は486億円といずれも過去最大の損失となりました。

### 連結収支比較表

(単位：百万円)

		当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
経常収益	営業収益（売上高）	277,011	303,273	△26,262	91.3	634,439
	電気事業営業収益	267,516	293,936	△26,420	91.0	614,419
	その他事業営業収益	9,494	9,337	157	101.7	20,019
	営業外収益	1,716	1,902	△186	90.2	4,213
	合 計	278,727	305,176	△26,448	91.3	638,653
経常費用	営業費用	317,955	284,664	33,291	111.7	631,956
	電気事業営業費用	309,816	276,553	33,263	112.0	614,509
	その他事業営業費用	8,138	8,110	28	100.3	17,446
	営業外費用	10,172	8,370	1,802	121.5	16,365
	合 計	328,128	293,034	35,093	112.0	648,322
[ 営業損益 ]		[ △40,944 ]	[ 18,609 ]	[ △59,553 ]	[ - ]	[ 2,482 ]
経常損益		△49,400	12,141	△61,542	-	△9,669
渴水準備金引当又は取崩し		△657	4,138	△4,796	-	4,895
税金等調整前四半期(当期)純損益		△48,742	8,003	△56,745	-	△14,565
法人税等		△100	2,931	△3,032	-	57,150
少数株主損益調整前四半期(当期)純損益		△48,641	5,072	△53,713	-	△71,716
少数株主損益		△9	25	△35	-	350
四半期(当期)純損益		△48,631	5,046	△53,678	-	△72,066

(注) 営業損益、経常損益、税金等調整前四半期(当期)純損益、少数株主損益調整前四半期(当期)純損益、少数株主損益、四半期(当期)純損益欄の△は、損失を示しております。

### 連結対象会社

連結子会社	持分法適用会社
北海電気工事(株) 北電興業(株) 北海道パワーエンジニアリング(株) 苫東コルセンター(株) ほくでんエコエナジー(株) 北海道総合通信網(株)	北海道計器工業(株)、北電総合設計(株)、 ほくでんサービス(株)、ほくでん情報テクノロジー(株)、 (株)エナジーフロンティア、(株)ほくでんスポーツフィールド、 北海道フードフロンティア(株)、(株)ほくでんアソシエ

## & 単独決算の概要

### 1. 需 要

- ・ 電灯および電力は、節電のご協力をいただいた影響などから、1.0%の減少となりました。
- ・ 特定規模需要は、節電のご協力をいただいた影響や、紙・パルプ、鉄鋼業などで自家発電の稼働増により需要を抑制いただいたことなどから、2.3%の減少となりました。
- ・ この結果、販売電力量合計では、1.8%の減少となりました。

### 販 売 電 力 量

(単位：百万kWh)

		当第2四半期 累計期間 (A)	前第2四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
特定規 模需要 以外	電 灯	5,338	5,407	△ 69	98.7	12,078
	電 力	892	887	5	100.5	2,651
	電 灯 電 力 計	6,230	6,294	△ 64	99.0	14,729
特 定 規 模 需 要		8,371	8,571	△ 200	97.7	17,416
合 計		14,601	14,865	△ 264	98.2	32,145

### 2. 供 給

- ・ 当第2四半期累計期間の出水率は90.2%と平年を下回り、また、泊発電所における1・2号機の長期停止や、3号機の定期検査による運転停止に加え、火力発電所の計画外停止・出力抑制などにより、厳しい需給状況となりました。
- ・ こうしたなか、自家発をお持ちのお客さまからの受電や緊急設置電源の導入など、できる限りの供給力対策を実施し、安定供給を維持することができました。

### 供 給 電 力 量

(単位：百万kWh)

		当第2四半期 累計期間 (A)	前第2四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
自 社	(出 水 率 %)	( 90.2)	( 117.4)	(△ 27.2)		( 111.6)
	水 力	1,941	2,532	△ 591	76.6	3,773
	火 力	10,679	7,675	3,004	139.2	20,564
	(設備利用率%)	( 8.6)	( 71.7)	(△ 63.1)		( 58.6)
	原 子 力	784	6,514	△ 5,730	12.0	10,663
	新エネルギー等	40	30	10	128.4	83
計		13,444	16,751	△ 3,307	80.3	35,083
他 社 受 電		2,595	2,234	361	116.2	4,865
融 通		△ 13	△ 2,304	2,291	0.5	△ 3,429
揚 水 用		△ 10	△ 39	29	27.7	△ 46
合 計		16,016	16,642	△ 626	96.2	36,473

### 3. 収 支

#### (1) 収 益

- ・ 電灯・電力収入は、販売電力量の減少はありましたが、燃料費調整制度の影響などにより、37億円（1.5%）の増加となりました。
- ・ その他収益は、本州方面への融通電力量の減少などにより、304億円（△76.4%）の減少となりました。
- ・ この結果、経常収益合計では、266億円（△9.0%）減少し、2,697億円となりました。

#### (2) 費 用

- ・ 人件費は、退職給付会計に係る費用の増加などにより、11億円（3.9%）の増加となりました。
- ・ 燃料費・購入電力料は、本州方面への融通電力量の減少などはありましたが、泊発電所停止日数の増加などにより、547億円（66.9%）の増加となりました。
- ・ 修繕費は、発電設備に係る定期検査費用の減少などにより、156億円（△32.6%）の減少となりました。
- ・ 減価償却費は、定率償却による遞減効果などにより、42億円（△8.8%）の減少となりました。
- ・ 支払利息は、有利子負債の増加などにより、2億円（3.1%）の増加となりました。
- ・ その他費用は、原子力バックエンド費用の減少などにより、35億円（△4.9%）の減少となりました。
- ・ この結果、経常費用合計では、327億円（11.4%）増加し、3,186億円となりました。

#### (3) 損 益

- ・ 泊発電所停止日数の増加による燃料費の大幅な増加などにより、経常損益は489億円、四半期純損益は482億円といずれも過去最大の損失となりました。

## 収支比較表

(単位：百万円)

		当第2四半期 累計期間 (A)	前第2四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
経 常 収 益	電 灯 料	118,721	117,137	1,584	101.4	257,115
	電 力 料	141,672	139,458	2,214	101.6	294,026
	( 小 計 )	( 260,394 )	( 256,596 )	( 3,798 )	( 101.5 )	( 551,142 )
	そ の 他 収 益	9,383	39,814	△ 30,431	23.6	67,661
	[ 売 上 高 ] 合 計	[ 268,278 ] 269,777	[ 294,696 ] 296,411	[ △ 26,418 ] △ 26,633	[ 91.0 ] 91.0	[ 615,756 ] 618,803
経 常 費 用	人 件 費	30,907	29,757	1,150	103.9	58,605
	燃 料 費 ・ 購 入 電 力 料	136,620	81,846	54,773	166.9	221,499
	修 繕 費	32,227	47,846	△ 15,618	67.4	101,867
	減 価 償 却 費	44,045	48,310	△ 4,265	91.2	99,233
	支 払 利 息	7,176	6,960	216	103.1	13,933
	そ の 他 費 用	67,701	71,219	△ 3,518	95.1	138,355
	合 計	318,678	285,940	32,737	111.4	633,495
[ 営 業 損 益 ]		[ △ 40,380 ]	[ 17,067 ]	[ △ 57,447 ]	[ - ]	[ △ 1,887 ]
経 常 損 益		△ 48,900	10,470	△ 59,370	-	△ 14,691
渴水準備金引当又は取崩し		△ 657	4,138	△ 4,796	-	4,895
税引前四半期(当期)純損益		△ 48,242	6,331	△ 54,573	-	△ 19,587
法 人 税 等		-	2,288	△ 2,288	-	54,956
四 半 期 ( 当 期 ) 純 損 益		△ 48,242	4,042	△ 52,285	-	△ 74,544

(注) 営業損益、経常損益、税引前四半期(当期)純損益、四半期(当期)純損益欄の△は、損失を示しております。

## 1. 業績の見通し

当社は、今冬の電力需給を万全なものとするため、安全確保を大前提に、1日も早い泊発電所の発電再開に向けた取組みを進めておりますが、泊発電所の発電再開時期が依然として未確定であり、現時点においては今後の需給状況を見通すことができないことから、通期の業績予想（売上高、営業損益、経常損益、当期純損益）につきましては、連結・単独ともに、引き続き「未定」といたします。今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

期末配当につきましては、泊発電所の発電再開時期が未確定な状況が続いていることから、引き続き「未定」とさせていただきます。